

海辺における 集落と墓制の実像

— 磯間岩陰遺跡と西庄遺跡 —



● 日時 2019年10月13日(日) 13:00～16:50 (受付開始12:30)

● 場所 和歌山市立博物館 入館には別途入館料が必要です。

● アクセス 公共交通 南海電鉄和歌山市駅下車、南へ徒歩10分

● 内容

近年、磯間岩陰遺跡や西庄遺跡といった海辺の集落と墓制について、資料の再検討が行われており、生業や年代、地域間交流や王権との関わりについて新たな知見が得られつつある。

そこで改めて考古学的な事象に基づく検討から、生業や交流、政治、地域性、立地、環境といった様々な要素から多面的に海辺の遺跡を評価する。

● プログラム

開会 13:00

講演 13:05～14:00 「古墳時代における海辺の埋葬遺跡とその意義」

清家 章 (岡山大学大学院)

趣旨説明兼報告

14:00～14:25 「紀伊半島における海辺の集落と墓制」 田中元浩 (和歌山県教育庁)

報告

14:30～15:00 「海浜部の集落における動物利用」 丸山真史 (東海大学)

15:00～15:25 「西庄遺跡の骨角器組成とその性格」 金澤一舞 (県立紀伊風土記の丘)

15:25～15:50 「鹿角製刀子柄からみた西庄遺跡」 仲辻慧大 (和歌山県教育庁)

シンポジウム

16:00～16:50

「海辺の遺跡と墓制、海辺に暮らした人々の実像を考える」

コーディネーター：岩井顕彦 (山口県教育委員会)、田中元浩

開会 16:50

● 誌上発表

「田辺湾周辺の海浜集落と墓制」 玉置梨沙 (田辺市教育委員会)

「紀伊半島と弥生・古墳時代の船」 石丸 彩 (和歌山県教育委員会)

「西庄遺跡出土の刀剣装具」 岩井顕彦 (山口県教育委員会)

「西庄遺跡の直弧文について～文様構成と彫り方～」 井上一樹 (紀伊考古学研究会会員)

